

令和3年度 鶴岡市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和4年5月

鶴岡市（山形県）

○計画期間：平成30年4月～令和5年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和3年度終了時点（令和4年3月31日時点）の中心市街地の概況

平成30年4月以降、認定基本計画に基づき、「多様な人々が行き交い、新たな出会いと展開が生み出す賑わいの創出」「城下町の歴史と文化が息づく中心市街地の持続的発展」「ユネスコ食文化都市のブランドを活かしたまちなか観光の振興」といった基本方針のもとに各事業を実施している。

観光振興では、これまで駅前地区周辺再整備事業を実施し、駅前広場ロータリーの改修による駐車場の整備や鶴岡駅地下道線の通路用シェルターの増築及び照明灯の整備により、来街者の利便性向上を図ってきた。また、令和3年度は鶴岡公園周辺において、内堀道路の修景整備を行い、市民や観光客の歩行空間の確保、利便性の向上を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客数が目標値の約50%にとどまるなど、令和2年度と同様に観光業には厳しい一年となったが、本市を訪れる観光客に対しては上記に併せ、鶴岡型DMOや観光案内所などの施設と連携し、引き続き満足度の向上につなげていく。

中心市街地商店街においては、2つの商店街において街路灯のLED化を行い、来街者の安全確保と賑わいの創出に取り組んだ。引き続き、チャレンジショップ事業による空き店舗への新規出店に対する補助や地権者・出店者とのマッチングを行い、空き店舗の減少を図り賑わい創出を図っていく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地区域)	平成29年度 (計画前年度)	平成30年度 (1年目)	令和元年度 (2年目)	令和2年度 (3年目)	令和3年度 (4年目)	令和4年度 (5年目)
人口	6,887	6,856	6,723	6,570	6,420	
人口増減数	△99	△31	△133	△153	△150	
自然増減数	△90	△77	△121	△91	△92	
社会増減数	△9	46	△12	△62	△58	
転入者数	304	355	380	289	338	

(2) 地価

(基準日：毎年度1月1日) (単位：円/㎡)

	平成29年 (計画前年)	平成30年 (1年目)	令和元年 (2年目)	令和2年 (3年目)	令和3年 (4年目)	令和4年 (5年目)
中心市街地	44,800	44,100	43,450	42,900	42,400	42,100

商業地域平均						
末広町 6 番 14	48,600	47,800	47,100	46,400	45,800	45,500
本町一丁目 7 番 55	41,000	40,400	39,800	39,400	39,000	38,700

## 2. 令和3年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和 4 年 3 月 30 日に第 11 回中心市街地活性化協議会を開催し、令和 3 年度に実施した事業の進捗状況と目標数値の達成状況について協議している。計画事業については一部事業に進捗の遅れが生じているが、引き続き関係機関と協議を進め、適切に事業を進めていくこととしている。

目標指標については、令和 2 年度、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により基準値を下回る結果となったが、「通行量」「主要観光施設（入込客数）」に回復傾向にあるり、「空き店舗数」も含め、関係機関との連携により目標達成に向け努力することとしている。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
居住の場、活動の場、交流の場としての中心市街地の再生	中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合	5.4% (H28)	5.6% (R4)	5.3% (R3)	C	1	②
中心市街地のにぎわいの創出	自転車歩行者通行量（休日・平日平均）	3,994人 (H28)	4,194人 (R4)	2,878人 (R3)	C	1	②
	空き店舗数	40店舗 (H28)	29店舗 (R4)	50店舗 (R3)	C	1	②
まちなか観光の振興	主要観光施設	150,800人 /年 (H28)	161,800人 /年 (R4)	81,983人 /年 (R3)	C	1	②

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

### 2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合」が基準値を下回った要因としては、減少率が市全体よりも大きかったことが上げられる。「まちなか居住拠点整備事業」について銀座通り商店街地内に集合型住宅の建設が予定されているが、当初48人増加の効果を見込んでいたが、計画の変更により12人増加の効果となった。

「自転車歩行者通行量（休日・平日平均）」については、新型コロナウイルス感染症の影響により外出を控えた市民や観光客の減少等により、目標値と比較して▲1,316人となっている。令和元年度までは横ばいで推移していたことから、感染症の状況が落ち着けば一定の増加は見込まれるが、令和4年度での目標の達成は難しい状況にある。一方で、「まちなか居住拠点整備」による居住人口の増や「中心市街地交通規制対策事業」による一方通行の規制解除などは通行量の増加が期待できる要因となっている。

「空き店舗数」については、「チャレンジショップ事業」による事業者とのマッチングを行い、令和3年度においては2件の実績があるなど一定の効果はあったが、令和4年度での目標達成は難しい状況にある。引き続き、「チャレンジショップ事業」の取り組みにより空き店舗の減少に努めていく。

「主要観光施設入込客数」については、令和元年度まではほぼ横ばい、目標値に近い数値で推移してきており、感染症の状況が落ち着けば一定程度観光客の増が期待できるが、現状、令和4年度までに目標と達成するのは困難と考える。今後も、令和元年度に設立した（一社）DEGAM 鶴岡ツーリズムビューローを中心に、引き続き関係機関との協力しながら観光客の増加を図ってい

く。

### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

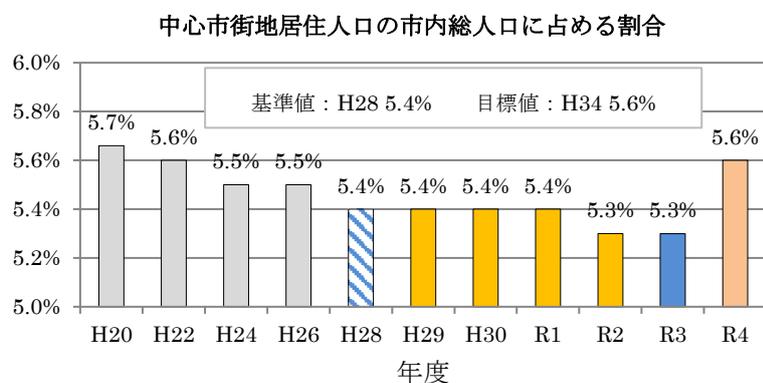
「中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合」については、「まちなか居住拠点整備事業」の銀座地区の集合型住宅の建設により、当初 48 人増加の効果を見込んでいたが、計画の変更により 12 人増加の効果となった。

「自転車歩行者通行量（休日・平日平均）」、「空き店舗数」、「主要観光施設入込客数」については、感染症の状況が落ち着けば一定の増加は見込まれるが、令和 4 年度単年での回復、目標の達成は難しい状況にあると考える。

### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 54～P. 56 参照

#### ●調査結果と分析



年	(%)
H28	5.4 (基準年値)
H30	5.4
R1	5.4
R2	5.3
R3	5.3
R4	5.6 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳による確認

※調査月：令和 4 年 3 月末時点での統計

※調査主体：鶴岡市

※調査対象：鶴岡市中心市街地 12 町内会（本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、昭和町、神明町、錦町、山王町、泉町、馬場町、末広町、日吉町、家中新町）

(単位：人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
本町一丁目	356	336	325	321	303	
本町二丁目	605	604	578	570	564	
本町三丁目	883	886	864	843	807	
昭和町	362	362	347	341	335	
神明町	834	862	837	820	828	
錦町	558	546	536	519	520	
山王町	542	544	535	523	517	
泉町	309	306	306	305	269	

馬場町	160	169	179	170	159	
末広町	882	845	836	819	799	
日吉町	477	466	469	460	463	
家中新町	919	930	911	879	856	
合計	6,887	6,856	6,723	6,570	6,420	

※調査地点図を記載する場合には、計画書のとおり図を掲載してください。また、調査時点ごとの数値も記載してください。

### 〈分析内容〉

「中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合」の増加に向けた各事業については、一部事業を除きおおむね完了、実施中となっている。

令和3年度は減少率が市全体よりも大きかったことから基準値を下回る結果となったが、市全体でも人口減少が続いており、中心市街地においても同様の傾向となった。

## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

### ①. まちなか居住拠点整備事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】 [認定基本計画：平成30年度～令和2年度]
事業概要	低未利用地を活用した複合型住宅等の建設による住環境の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）（国土交通省） （平成30年度～令和3年度） [認定基本計画：社会資本総合整備交付金（優良建築物等整備事業） （国土交通省）（平成30年度～令和2年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成30年度より市民参加型の懇話会などを開催しながら、まちなか居住拠点整備の実施に向け検討を行っている。 銀座地区では低中層の集合型住宅について民間事業者を公募・決定し、事業協定を締結。令和元年度に設計業務、令和2年度は実施設計、令和3年度より建築工事だったところ、実施設計の変更が生じたため、令和3年度に実施設計変更と除却工事を行い、令和4年度に建築工事を実施することとなった。完成後は12人の入居を見込んでおり、低未利用地の活用による中心市街地への若者定着が期待されている。 駅前地区では商業施設を併設した複合型住宅の建設に向け、事業者の公募をおこなったものの、令和元年に発生した山形県沖地震の影響により事業の再考を余儀なくされ、駅前地区の一体的な土地利用を再検討することとなった。 完成後はそれぞれの入居人数を152人と見込んでおり、低未利用地の活用による中心市街地への若者定着が期待されている。
事業の今後について	銀座地区：R1～2設計業務、R3実施設計変更・除却工事、R4建築工事 駅前地区：構想策定のなかで検討中 居住及びにぎわい施設（商業機能）の整備により、中心市街地の活性

	<p>化が図られる。</p> <p>駅前地区については、令和 2 年度から「城下のまち鶴岡将来構想策定委員会」を立ち上げ、整備・運営方針を検討、令和 3 年度には「城下のまち鶴岡将来構想 鶴岡駅前地区将来ビジョン」を取りまとめた。令和 4 年度は、構想の実現のため、社会実験の実施検証を行い、駅前地区の整備運営基本計画の検討を進めていく。</p>
--	---

②. ランド・バンク事業（鶴岡市・ランドバンク）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】 [認定基本計画：平成 24 年度～]												
事業概要	密集住宅地の空き家、空き地などの寄付を市が受け、住宅用地として提供する住環境の整備												
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業）（国土交通省） （平成 28 年度～）												
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>中心市街地の良好な住環境整備のため、狭あいな道路や不整形な宅地を一体的に改善し、まちなかの居住人口を確保する予定であり、分譲を計画的に取り組んでいく。</p> <p>令和 3 年度 中心市街地居住促進事業</p> <table style="margin-left: 200px;"> <tr> <td>寄付採納</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>分譲継続</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>分譲</td> <td>-</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 100px;">空き家バンク事業</p> <table style="margin-left: 150px;"> <tr> <td>登録物件</td> <td>7 1 件</td> </tr> <tr> <td>成約物件</td> <td>4 1 件</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 100px;">空き家委託管理事業</p> <table style="margin-left: 150px;"> <tr> <td></td> <td>2 5 件</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 100px;">空き家コーディネート事業（NPO 法人へ委託）</p> <p>今後、事業の進捗により 64 人の効果が表れるものと考えている。</p>	寄付採納	1 件	分譲継続	3 件	分譲	-	登録物件	7 1 件	成約物件	4 1 件		2 5 件
寄付採納	1 件												
分譲継続	3 件												
分譲	-												
登録物件	7 1 件												
成約物件	4 1 件												
	2 5 件												
事業の今後について	中心市街地の住環境の改善に継続して取り組み、まちなかの居住人口確保に努める。												

③. 鶴岡市総合保健福祉センター運営事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 22 年度～【実施中】
事業概要	総合保健福祉センターによる保健福祉の総合支援とコミュニティ機能活用によるまちなか居住の推進
国の支援措置名及び支援期間	子ども子育て支援交付金・保育対策事業費交付金（厚生労働省） （平成 22 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地に整備されている総合保健福祉センター「にこ・ふる」の保健センター機能、福祉機能、子ども家庭支援機能、医療サービス機能及びコミュニティ機能を活用した市民の健康寿命の延伸と生活の質の向上により、市民の安心と居住の推進を行っている。

	【利用者数 R1:557 百人、R2 : 361 百人、R3:493 百人】
事業の今後について	引き続き事業を実施し、生活居住空間の向上を図っていく。

④. 健康増進施設改修「プラスONE」(株)庄交コーポレーション

事業実施期間	平成 29 年度～平成 30 年度【済】
事業概要	住民の健康増進に寄与するフィットネス施設の整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 30 年度に大規模改修が完了し、中心市街地における住民の健康増進に寄与するとともに、市民の生活利便とまちなか居住環境向上及び市街地のにぎわいが創出された。 改修後、利用者の増加につながっており、整備効果が継続している状況にある。 【利用者数 R1:13.8 万人、R2 : 11.9 万人、R3 : 11.9 万人】
事業の今後について	継続して、中心市街地における住民の健康増進に寄与する施設として機能を果たすことで、市民の利便性向上を図っていく。

⑤. 鶴岡まちづくりブランディング事業(鶴岡市)

事業実施期間	平成 28 年度～令和元年度【済】
事業概要	旧コミュニティプラザ「セントル」を活用したまちづくりと人材育成
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし [認定基本計画：地方創生推進交付金(内閣府)(平成 28 年度～令和元年度)]
事業目標値・最新値及び進捗状況	銀座商店街にある旧コミュニティプラザ「セントル」のまちづくりセンター機能を活用し、都市計画・まちづくりに対する人材の育成、若者交流の支援を行っている。 施設は 1 階にカフェ、2 階に貸しスペース・コワーキングスペースを整備しており、起業・創業の支援の取組みや相互の交流により入居者及び高校生を中心に利用者が増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時減少、現在は徐々に回復しつつある。 【利用者数 R1 : 276 百人、R2 : 153 百人、R3 : 191 百人】
事業の今後について	継続して事業を実施し、まちづくりの人材育成と若者の交流に引き続き取り組んでいく。

⑥. 中庭空間整備事業(銀座 6 街区)(鶴岡市)

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	低未利用地の整備、公共空間の効率的利用街区空間の再編

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心商店街の低未利用地となっている駐車場を有効活用し、にぎわい創出のイベント等を実施し、地権者等とともに将来の利活用について検討。 令和3年度「ぎんざ秋まつり（パークレット社会実験）」を開催
事業の今後について	低未利用地の有効活用につながる整備、利用方法の検討のため、商店街と連携して、社会実験を継続して実施する。

⑦. 移住・定住促進事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	移住希望者へのお試し住宅の提供及び移住コーディネーターによる相談
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（平成28年度～平成30年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地にある市営住宅の空き部屋を移住希望者向けのお試し住宅とし、本市への移住ステップとして提供している。 また、移住コーディネーターを設置し、UIJターン希望者の相談を受け、鶴岡ワークサポートルームにおける職業紹介など、関係機関と連携して対応し、本市への移住・定住への支援を行っている。 令和3年度におけるお試し住宅の利用件数について、新型コロナウイルス感染症拡大防止による募集の一時見合わせなどもあったが、7件となっている。
事業の今後について	継続して事業を実施し、引き続き本市への移住及び定住取り組んでいく。

⑧. 鶴岡市住宅リフォーム支援事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成23年度～【実施中】
事業概要	空き家を活用した場合のリフォーム費用に対する補助
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地への移住・住み替え促進を目的に既存ストックを利活用しながら、移住世帯へのリフォーム費用の支援を行い、居住環境を整備し、まちなか居住の促進に取り組んだ。 令和3年度は4件・8人の移住があった。
事業の今後について	継続して事業を実施し、本市への移住と住環境整備に引き続き取り

ついて	組んでいく。
-----	--------

⑨. 交通輸送対策事業（鶴岡市、民間事業者、鶴岡市地域公共交通活性化協議会）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地と周辺地域を結ぶ効率的な交通ネットワークの構築
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし 〔認定基本計画：地域公共交通確保維持改善事業地域公共交通確保維持事業）（国土交通省）（平成 27 年度～）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地と周辺地域を結ぶ効率的な交通ネットワークを構築し、市内循環バスを運行することで、市街地の交通機能の向上を図っている。 【利用者数 R1:753 千人 R2:656 千人 R3:596 千人】
事業の今後について	継続した事業展開により、市民などの利便性向上に努めていく。 現在の地域公共交通計画に基づき、令和 4 年 10 月より新市内循環線の運行を開始。

⑩. 大規模小売店舗改修「エスマール」（株庄交コーポレーション）

事業実施期間	平成 29 年度～平成 30 年度【済】
事業概要	市民生活の利便性、賑わい向上のための大規模小売店舗改修
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	施設改修が完了し、中心市街地内の大規模小売店舗として、住民の生活利便の向上、中心商店街の活性化、にぎわいが創出されている。
事業の今後について	継続して施設を維持することにより、中心市街地の利便性向上に努めていく。

⑪. 鶴岡市文化会館関連事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】 〔認定基本計画：昭和 47 年度～〕
事業概要	新文化会館を活用した多彩な事業展開による交流・にぎわいの創出
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 30 年 4 月にグランドオープンした鶴岡市文化会館において、年間を通じた芸能イベントの開催や、地域の独自性を生かした取り組みを行っており、市民の利便性向上とともに、市外からの来客者の増加による交流や新たなにぎわいが生まれている。

	【来館者数 R1 : 738 百人、R2 : 426 百人 R3 : 399 百人】
事業の今後について	継続した事業展開により、市民の利便性向上に努めていく。

⑫. 鶴岡アートフォーラム事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 18 年度～【実施中】
事業概要	芸術活動の活性化と計術を通じた多様な交流による賑わいづくり
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	市民の創作活動の発表の場や芸術に触れる機会を提供し、市民の芸術活動の活性化と多様な交流による賑わいが創出されている。 【利用者数 R1:678 百人 R2 : 316 百人 R3 : 471 百人】
事業の今後について	継続した事業展開により、市民の利便性向上に努めていく。

⑬. 市民講座等の開催（鶴岡市・東北公益文科大学大学院・慶応義塾大学先端生命科学研究所・鶴岡総合研究所ほか）

事業実施期間	平成 9 年度～【実施中】
事業概要	まちなかに立地する学術・研究施設や芸術・文化施設の活動の活性化と、施設機能の活用による多様な交流の推進
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地に立地する東北公益文科大学大学院や慶応義塾大学先端生命科学研究所が主催する市民向けの各種講座や当該施設を主会場に開催されている「鶴岡致道大学」、「市民のための夕学講座」などを通し、市民の高度な知的欲求に応えるとともに、学生・市民など街中での多様な交流の拡大が図られた。 【利用者数 R1:648 人 R2 : 419 人 R3 : 442 人】
事業の今後について	継続した事業展開により、多様な交流の推進に取り組んでいく。

⑭. シビックコア再整備事業（鶴岡市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】 [認定基本計画：令和 2 年度～令和 4 年度]
事業概要	都市機能誘導施設として荘内看護専門学校の改築及び公共交通のハブ機能の整備による利便性の向上
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>荘内看護専門学校の移転改築に向け、国の合同庁舎建設スケジュールを注視し、計画的に推進していくため、令和 2 年度に基本構想をとりまとめており、令和 3 年度は整備基本計画を策定し、移転新築工事設計業務の公募型プロポーザルを公示した。</p> <p>シビックコア地区における駐車場の適正配置を含む土地利用と連動した交通ネットワークの形成を検討するため、平成 30 年度より毎年度、駐車場利用調査を実施している。</p>
事業の今後について	シビックコア地区を含む中心市街地の土地利用計画について、地域公共交通とも連携し検討を進める。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

健康増進に寄与するフィットネス施設「プラスONE」の整備、集会機能を有するホテル施設「東京第一ホテル鶴岡」、市民生活の利便性向上を目的とした小売店舗「エスマール」などの各事業により、まちなかの暮らしやすさの向上を図る事業を実施することで、135 人増加の効果を見込んでいる。「まちなか居住拠点整備事業」については、銀座通り商店街地内に集合型住宅の建設し、当初 48 人増加の効果を見込んでいたが、計画の変更により 12 人増加の効果となったが、目標指標 5.6%には影響はないと考えられる。

「自転車歩行者通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 57～P. 62 参照

### ●調査結果と分析



年	(人)
H28	3,994 (基準年値)
H30	3,882
R1	3,937
R2	2,457
R3	2,878
R4	4,194 (目標値)

※調査方法：通行量調査（9月）

※調査月：令和3年9月24日（金）・26日（日）7～19時で実施

※調査主体：鶴岡TMO 鶴岡市

※調査対象：鶴岡市中心市街地の6地点における平日・休日の自転車及び歩行者通行者



(単位：人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
銀座通り(セントル前)	807	918	985	544	594	
駅前通り(きらやか駅前支店前)	838	785	806	610	659	
南銀座通り(池田前)	658	617	559	286	396	
日吉通り(お休み処「寄り道」前)	670	665	620	415	457	
山王通り(阿部久書店前)	504	528	580	389	482	
みゆき通り(荘内銀行前)	366	336	387	167	290	
合計	3,843	3,849	3,937	2,411	2,878	

### 〈分析内容〉

「自転車歩行者」の増加に向けた各事業については、一部事業を除きおおむね完了、実施中となっている。

令和元年度までは、基準値並みの人数で推移しており、一定程度の効果が現れていると考えられる。特に銀座通りについては、平成 30 年度から令和元年度にかけて 67 名の増加しており、同商店街で実施した「鶴岡まちづくりブランディング事業」（利用者 H30：219 百人人→R1：276 百人人→R2：153 百人→R3：191 百人）の効果が現れているものとする。

なお、令和 2、3 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により外出を控えた市民や観光客の減少が影響したと考えられるが、令和 3 年度は回復傾向にある

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. 鶴岡まちづくりブランディング事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～令和元年度【済】
事業概要	旧コミュニティプラザ「セントル」を活用したまちづくりと人材育成
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし 〔認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（平成 28 年度～令和元年度）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	銀座商店街にある旧コミュニティプラザ「セントル」のまちづくりセンター機能を活用し、都市計画・まちづくりに対する人材の育成、若者交流の支援を行っている。 施設は 1 階にカフェ、2 階に貸しスペース・コワーキングスペースを整備しており、起業・創業の支援の取組みや相互の交流などによる入居者及び高校生を中心に利用者が増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時減少、現在は徐々に回復しつつある。 【利用者数 R1：276 百人、R2：153 百人、R3：191 百人】 令和元年度は本事業による効果として 244 人の通行量増加が図られたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度は 166 人減となった。令和 3 年度も感染症の影響はあるものの、87 人減にとどまっており、回復傾向にあると考える。
事業の今後について	継続して事業を実施し、まちづくりの人材育成と若者の交流に引き続き取り組んでいく。

#### ②. 鶴岡駅前ルネッサンス事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	観光客の回遊拠点である駅前地区での食文化の情報発信・観光誘客
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・	鶴岡駅前地区におけるマリカ東館の 1 階を整備し、食文化をテーマ

最新値及び進捗状況	<p>とした地元食材を生かした飲食店機能、オリジナル商品の開発とセレクトショップ、コミュニティスペースの活用により、県外観光客の回遊と商店街の賑わい創出が行われている。</p> <p>また、令和3年度はFOODEVER内に設置されている4台の4Kテレビで放映している映像の更新を行い、四季ごとの在来作物や地魚等の映像を放映し、施設内の賑わい創出・食文化情報の発信強化を図っている。</p> <p>令和元年度は、本事業による効果として80人の通行量増加が図られたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は86人減となった。令和3年度は8人減少しており、令和2年度に引き続き感染症の影響により、外出頻度が減ったことが影響していると考えられるが、回復傾向にあると考える</p>
事業の今後について	食文化の情報発信及び更なる賑わい創出に向け、テナント会、観光案内所、行政が連携し取り組みを行っていく。

③. まちなか居住拠点整備事業等（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成30～令和4年度【実施中】 [認定基本計画：平成30年度～令和2年度]
事業概要	低未利用地を活用した複合型住宅等の建設による住環境の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）（国土交通省） （平成30年度～令和3年度） [認定基本計画：社会資本総合整備交付金（優良建築物等整備事業） （国土交通省）（平成30年度～令和2年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>平成30年度より市民参加型の懇話会などを開催しながら、まちなか居住拠点整備の実施に向け検討を行っている。</p> <p>銀座地区では低中層の集合型住宅について民間事業者を公募・決定し、事業協定を締結。令和元年度に設計業務、令和2年度は実施設計、令和3年度より建築工事だったところ、実施設計の変更が生じたため、令和3年度に実施設計変更と除却工事を行い、令和4年度に建築工事を実施することとなった。完成後は12人の入居を見込んでおり、低未利用地の活用による中心市街地への若者定着が期待されている。</p> <p>駅前地区では商業施設を併設した複合型住宅の建設に向け、事業者の公募をおこなったものの、令和元年に発生した山形県沖地震の影響により事業の再考を余儀なくされ、駅前地区の一体的な土地利用を再検討することとなった。</p> <p>完成後はそれぞれの入居人数を152人と見込んでおり、低未利用地の活用による中心市街地への若者定着が期待されている。</p>
事業の今後について	<p>銀座地区：R1～2 設計業務、R3 実施設計変更・除却工事、R4 建築工事 駅前地区：構想策定のなかで検討中</p> <p>居住及びにぎわい施設（商業機能）の整備により、中心市街地の活</p>

	<p>性化が図られる。</p> <p>駅前地区については、令和2年度から「城下のまち鶴岡将来構想策定委員会」を立ち上げ、整備・運営方針を検討、令和3年度には「城下のまち鶴岡将来構想 鶴岡駅前地区将来ビジョン」を取りまとめた。令和4年度は、構想の実現のため、社会実験の実施検証を行い、駅前地区の整備運営基本計画の検討を進めていく。</p>
--	--

④. 大規模小売店舗改修「エスマール」（株庄交コーポレーション）※再掲

事業実施期間	平成29年度～平成30年度【済】
事業概要	市民生活の利便性、賑わい向上のための大規模小売店舗改修
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	施設改修が完了し、中心市街地内の大規模小売店舗として、住民の生活利便の向上、中心商店街の活性化、にぎわいが創出されている。
事業の今後について	継続して、中心商店街の活性化に寄与する施設として維持することによって、中心市街地の利便性向上に資する。

⑤. 交通輸送対策事業（鶴岡市、民間事業者、鶴岡市地域公共交通活性化協議会）※再掲

事業実施期間	平成28年度～【実施中】 [認定基本計画：平成27年度～]
事業概要	中心市街地と周辺地域を結ぶ効率的な交通ネットワークの構築
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし [認定基本計画：地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通確保維持事業）（国土交通省）（平成27年度～）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地と周辺地域を結ぶ効率的な交通ネットワークを構築し、市内循環バスを運行することで、市街地の交通機能の向上を図っている。 【利用者数 R1:753千人 R2:656千人 R3:596千人】
事業の今後について	継続した事業展開により、市民などの利便性向上に努めていく。 現在の地域公共交通計画に基づき、令和4年10月より新市内循環線の運行を開始する。

⑥. 中心市街地交通規制対策事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成28年度～令和2年度【実施中】
事業概要	中心市街地の一方通行解除による、利便性向上
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業・街路事業）（国土交通省）（平成28年度～令和2年度）

間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心商店街の一方通行を解除し、中心部へのアクセス性、利便性を向上させるため、道路拡幅、交差点改良などを実施中である。 令和3年度 消雪用井戸掘削工事、防火水槽撤去工事
事業の今後について	計画的に工事を進め、完成した経路から順次、交通規制解除につなげる。

⑦. 中庭空間整備事業（銀座6街区）（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	低未利用地の整備、公共空間の効率的利用街区空間の再編
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心商店街の低未利用地となっている駐車場を有効活用し、にぎわい創出のイベント等を実施し、地権者等とともに将来の利活用について検討。 令和3年度「ぎんざ秋まつり（パークレット社会実験）」を開催。
事業の今後について	低未利用地の有効活用につながる整備、利用方法の検討のため、商店街と連携して社会実験を継続して実施する。

⑧. 駅前地区周辺再整備事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成29年度～【済】
事業概要	駅前地区へのアクセス等の機能の再配置、再整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	駅前広場ロータリー、鶴岡駅地下道線の改修による降車場の整備、通路用シェルターの増築、照明灯整備による歩行者の利便性が向上されている。 平成30年度繰越 鶴岡駅前線他1路線道路改良工事完了
事業の今後について	駅前地区へのアクセス向上により来街者・来訪者の利便性が高まることから、引き続きにぎわい創出に努めていく。

⑨. 散策・休憩施設整備事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成26年度～平成29年度【済】 [認定基本計画：平成26年度～令和4年度]
事業概要	中心部に散策休憩施設を整備し、観光客及び来街者の利便性を向上させる。
国の支援措置	国の支援措置なし

名及び支援期間	[認定基本計画：社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) (国土交通省) (令和元年度～令和4年度)]
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心商店街に、中心部に散策休憩施設が整備されることによって、観光客、中心市街地の来訪者の休憩や立ち寄りの利便性が向上している。 平成29年度 本町二丁目広場 整備完了
事業の今後について	中心部の散策休憩施設が、観光客や中心市街地への来訪者の利便性向上に資するよう努めていく。

⑩. 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業（公益財団致道博物館）

事業実施期間	平成25年度～平成30年度【済】
事業概要	擬洋風建築の旧鶴岡警察署庁舎について風致を維持するための改修
国の支援措置名及び支援期間	重要文化財（建造物・美術工芸品）修理、防災事業費国庫補助（文化庁）（平成25年度～平成30年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	本市歴史的風致維持向上計画の重点区域にある擬洋風建築である旧鶴岡警察署庁舎について、外観及び内部の修繕を行い美観と安全性を確保し、文化財価値の継承と、歴史的風致の維持向上により、観光客の受入に資する。 【来館者数 R1：497百人、R2：246百人、R3：277百人】
事業の今後について	近隣観光施設との連携により通行量の増加に取り組んでいく。

⑪. 市指定有形文化財大宝館整備事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成30年度【済】 [認定期基本計画：平成29年度～平成30年度]
事業概要	擬洋風建築の大宝館について風致を維持するための改修
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) (国土交通省) (平成30年度) [認定基本計画：社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) (国土交通省) (平成29年度～平成30年度)]
事業目標値・最新値及び進捗状況	鶴岡公園内の観光拠点施設で本市を代表する擬洋風建築である大宝館について、外観及び内部の修繕を行い美観と安全性を確保し、文化財価値の継承と、歴史的風致の維持向上により、観光客の増加が見込まれる。 【来館者数 R1：202百人、R2：73百人、R3：105百人】
事業の今後について	改修による魅力向上から、他の観光施設との連携を強化し観光客増に努めていく。

⑫. 三日町口通り修景事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 27 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	市道荘内神社前大東町線について修景整備とともに無電柱化を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)（国土交通省） （平成 30 年度～令和 4 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	城下町らしさを演出する修景整備により、往時の雰囲気を創出し、市民、観光客の受け入れ体制を整備する。 令和 3 年度 無電柱化推進協議会等での協議
事業の今後について	引き続き、電線管理者との協議を進め、事業化に向け、整備手法及び事業費の比較検討を行う。

⑬. 鶴岡公園内堀道路修景事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	市道鶴岡公園新形町線について修景整備とともに無電柱化を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)（国土交通省） （平成 30 年度～令和 4 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	城下町らしさを演出する修景整備により、往時の雰囲気を創出し、市民、観光客の受け入れ体制を整備する。 令和 3 年度 道路改良 L=552m （側溝整備、街路灯・交通標識設置、車止め・ベンチ設置）
事業の今後について	令和 2 年度から 2 ヶ年の計画で道路修景工事を実施し、歩行者空間を確保し、観光客を中心に利便性向上に資する。

⑭. 歴史的風致形成建造物保存活用整備事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	歴史的風致維持形成建造物の保存活用のための支援
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)（国土交通省） （平成 28 年度～令和 4 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	個人・民間が所有する歴史的建造物を維持するために支援し、公開等により、関心の高まり、観光客への遊動を誘引し、保存活用と歴史的風致の維持向上を図り、市民・観光客の受入体制を整備する。 【丙申堂来館者数 R1 : 89 百人、R2 : 33 百人、R3 : 37 百人】
事業の今後について	歴史的建造物の保存活用のため、継続して支援する。

⑮. 鶴岡市文化会館関連事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】 [認定基本計画：昭和 47 年度～]
事業概要	新文化会館を活用した多彩な事業展開による交流・にぎわいの創出
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡）において、年間を通じた芸能イベントの開催や、地域の独自性を生かした取り組みにより、市外からの交流やにぎわいが生まれている。 【来館者数 R1：738 百人、R2：426 百人、R3：399 百人】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に取り組んでいく。

⑯. 商店・商店街レベルアップ事業（鶴岡 TMO）

事業実施期間	平成 15 年度～【実施中】
事業概要	セミナー実施による個店への指導、賑わい創出に向けた研究会の開催
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	各商店の魅力ある店づくりや情報発信に対する意識・技能向上、販売促進のテーマに沿ったセミナーを開催している。 【商店・商店街魅力向上セミナー・SNS 活用セミナー参加者数 H30：70 人、R1：69 人、R2：23 人、R3：66 人】
事業の今後について	継続した事業展開により、商店街への来街者増に取り組んでいく。

⑰. 共通商品券発行事業（鶴岡商店会連合会・鶴岡 TMO）

事業実施期間	平成 15 年度～【実施中】
事業概要	中心商店街を中心とした共通商品券の発行
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	5%のプレミアムがついた地域振興券を発行し、消費拡大による地域商業の振興を図ることを目的に実施していたが、令和 2 年度は休止し、代替として、「地域経済元気回復キャンペーン」プレミアム付商品券発行事業と「山形県がんばる商店街緊急応援事業」と連携した「商店街元気回復商品券発行事業」を実施した。

	【販売金額 R1 : 5,000 万円、R2 : 7,500 万円、R3 : 一万円】
事業の今後について	引き続き、商店街への来街者増に取り組んでいく。令和 3 年度についても休止しており、今後の在り方を検討している。

⑱. 商店街のお役立ち講座事業（鶴岡 TMO）

事業実施期間	平成 17 年度～【実施中】
事業概要	商店街店舗の知識や技術の市民に向けた講座の開催
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心商店街の専門店の持つ豊富な知識を講座体験により、来店者の増加を図ることを目的に実施していたが、現在は今後の在り方を検討するため休止している。 【参加者数 R1 : 109 人、R2 : 一人、R3 : 一人】
事業の今後について	令和 4 年度以降の実施方法等を検討し、商店街への来街者増に取り組んでいく。

⑲. まちなかコンシェルジュ事業（鶴岡 TMO）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	休憩場所・観光情報を提供できる店舗の研修及びネットワークの構築
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	「まちなかコンシェルジュ」により中心商店街エリアの観光案内所的な役割を担う参加店を募集し、観光客への案内、休憩所の提供を行い、観光客のニーズに対応している。 【対応観光客数 R1 : 4,533 人、R2 : 1,213 人、R3 : 1,026 人】
事業の今後について	継続した事業展開により、商店街への来街者増に取り組んでいく。

⑳. イベント支援事業（鶴岡 TMO、各商店街組織等実行団体）

事業実施期間	平成 15 年度～【実施中】 [認定基本計画：平成 12 年度～]
事業概要	商店街等が実施する賑わいづくりイベントへの助成
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	商店街のイベントに対する支援を行い、商店街への誘客、賑わいの創出を図っている。

捗状況	令和3年度の開催について、単独商店街での賑わいイベントが7事業、商店街が連携し開催するイベントが12事業となっている。 【参加集客数 R1: 122,902人、R2: 21,185人、R3: 10,299人】
事業の今後について	継続した事業展開により、商店街への来街者増に取り組んでいく。

⑳. 山王ナイトバザール（鶴岡山王商店街振興組合）

事業実施期間	平成6年度～【実施中】
事業概要	5月～10月までの毎月第3土曜日に開催している商店街主催の賑わいイベント
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。代替えとして、「山王デイバザール」を実施し、500人の集客があった。 【集客数 R1: 294百人（※1）、R2: 一人、R3: 一人】 ※1 集客数は、ナイトバザールと年始初詣イベントの合計
事業の今後について	継続した事業展開により、商店街への来街者増に取り組んでいく。

㉑. 歴史まちづくり人材育成事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成26年度～令和4年度【実施中】
事業概要	歴史的建造物の所有者や観光ガイド等を対象にした保全・活用推進を牽引する人材の発掘・育成及び活動団体の支援の実施
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)（国土交通省） （平成30年度～令和4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	歴史的建造物の所有者や観光ガイド等を対象に学習機会や保全・活用推進を牽引する人材の発掘・育成、マネジメント、活動団体の支援等を行い、意識啓発・歴史的風致の向上を図り、市民・観光客の受入体制を整備する。 令和3年度 ボランティアによる観光ガイドの実施
事業の今後について	継続して、人材育成のための研修会等を開催し、意識啓発、啓蒙を図る。

㉒. シビックコア再整備事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	令和元年度～【実施中】 [認定基本計画：令和2年度～令和4年度]
事業概要	都市機能誘導施設として荘内看護専門学校の改築及び公共交通のハブ

	機能の整備による利便性の向上
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>荘内看護専門学校の移転改築に向け、国の合同庁舎建設スケジュールを注視し、計画的に推進していくため、令和2年度に基本構想をとりまとめており、令和3年度は整備基本計画を策定し、移転新築工事設計業務の公募型プロポーザルを公示した。</p> <p>シビックコア地区における駐車場の適正配置を含む土地利用と連動した交通ネットワークの形成を検討するため、平成30年度より毎年度、駐車場利用調査を実施している。</p>
事業の今後について	シビックコア地区を含む中心市街地の土地利用について、地域公共交通とも連携し検討を進める。

②4. 旧エビスヤ薬局施設整備事業（鶴岡市→民間事業者）

事業実施期間	令和元年度【未】
事業概要	登録有形文化財に指定された、歴史的建造物である「旧エビスヤ薬局」を活用し、観光情報発信ブースとカフェ、コミュニティスペースを整備し、商店街への来街人口の増加と賑わい創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	商店街活性化・観光消費創出事業（経済産業省） （令和元年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業主体が整備にあたっての費用対効果、整備後の運営収支について検討を行っている。
事業の今後について	予定していた国の支援を受けられなかったため、新たな支援措置等を含め今後の進め方を検討している。

②5. 鶴岡市商店街街路灯改修事業費補助金

事業実施期間	令和3年度
事業概要	商店街が実施する老朽化した街路灯の改修に対して支援することにより、来街者の安全と利便性の確保及び商店街の活性化を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	鶴岡みゆき通り商店街、鶴岡南銀座通商店街の2商店街振興組合で事業を実施し、支援を行った。

事業の今後について

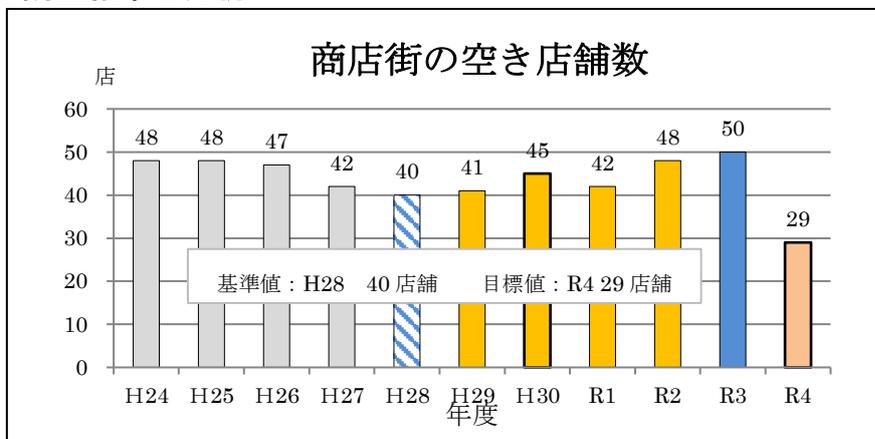
令和3年度で事業は終了した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「自転車歩行者通行量」については、大規模小売店舗改修「エスモール」等の各事業の実施の効果として466人の増加を見込んでいる。令和3年度は令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、回復傾向にあることから、今後も鶴岡まちづくりブランディング事業や鶴岡駅前ルネッサンス事業の実施及びTMO事業の取組みとともに、一方通行の規制解除や交通ネットワークの改善などにより市民生活の利便性を向上させ、まちなかの賑わい創出により通行量を増やしていく。

「商店街の空き店舗数」※目標設定の考え方認定基本計画 P.57～P.62 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H28	40 (基準年値)
H30	45
R1	42
R2	48
R3	50
R4	29 (目標値)

※調査方法: 空き店舗調査(7月)

※調査月: 令和3年7月26日～30日の期間実施

※調査主体: 鶴岡TMO 鶴岡市

※調査対象: 鶴岡市中心市街地の11商店街(鶴岡駅前商店街振興組合、鶴岡日吉商店街振興組合、鶴岡山王商店街振興組合、鶴岡銀座商店街振興組合、昭和通振興会・商工会、鶴岡みゆき通り商店街振興組合、鶴岡南銀座商店街振興組合、川端商店会、一日市商工会、七日町商店会、上肴町商店会)

## 商店街位置図



(単位：店舗)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
鶴岡駅前商店街振興組合	5	5	5	6	7	
鶴岡日吉商店街振興組合	1	2	1	2	3	
鶴岡山王商店街振興組合	3	5	5	5	3	
鶴岡銀座商店街振興組合	13	15	15	20	19	
鶴岡南銀座商店街振興組合	2	2	1	0	2	
鶴岡みゆき通り商店街振興組合	2	2	2	2	3	
昭和通り振興会	8	8	7	7	6	
七日町商店会	1	1	2	2	3	
川端商店会	2	3	2	2	2	
一日市商工会	2	1	1	1	1	
上肴町商店会	2	1	1	1	1	
合計	41	45	42	48	50	

### 〈分析内容〉

「商店街の空き店舗」の減少に向けた各事業については、一部事業を除き実施中となっており、令和元年度まではほぼ同数で推移している。事業の効果が現れているものと考えられるが、令和

2 年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響等により、既存店舗の減少に加え、空き店舗が増加したものと考えられる。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. チャレンジショップ事業（鶴岡 TMO）

事業実施期間	平成 12 年度～【実施中】
事業概要	商店街の空き店舗を利用し、創業・開業した事業者への支援
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	創業、開業にあたり、商店街の空き店舗を活用する事業者に対し、リフォーム経費や家賃に対する助成及び広告宣伝費を支援することで、事業者の負担軽減による経営の安定化と空き店舗の解消に寄与する。 令和 3 年度は 2 件の出店があった。将来的に計 8 店舗の出店を目指す。
事業の今後について	事業実施主体と連携し、空き店舗の調査及び事業者とのマッチング事業の PR に努め、空き店舗の解消に努めていく。

#### ②. 遊休不動産利活用推進事業（リノベーションスクール実行委員会）

事業実施期間	平成 27 年度～【未】
事業概要	まちづくりの担い手育成とリノベーションの活用法の実施。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	空き家、空き店舗に対し、リノベーション手法による改装を施すとともに、新しいまちづくりの担い手を育成し、中心市街地の賑わいを創出する。将来的には 2 店舗の出店を目標としている。
事業の今後について	実行委員会等において出店者を探している状況のため、事業実施に向け引き続き取り組んでいく。

#### ③. 鶴岡駅前ルネッサンス事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	観光客の回遊拠点である駅前地区での食文化の情報発信・観光誘客
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	鶴岡駅前地区におけるマリカ東館の 1 階を整備し、食文化をテーマとした地元食材を生かした飲食店機能、オリジナル商品の開発とセレクトショップ、コミュニティスペースの活用により、県外観光客の回遊

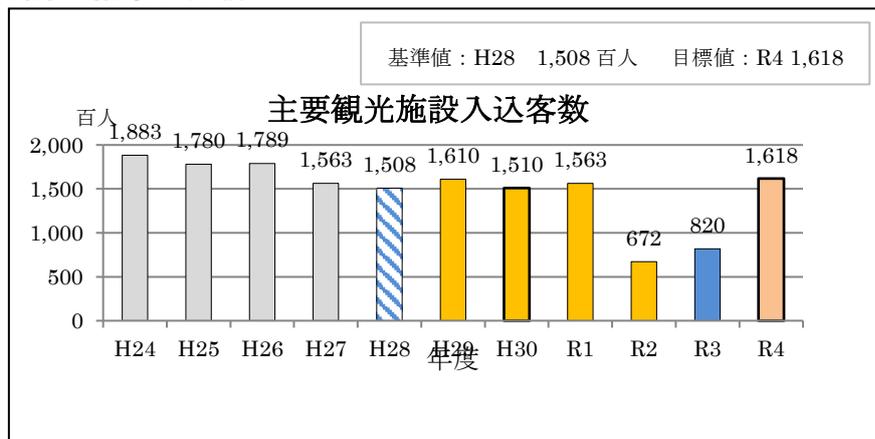
	<p>と商店街の賑わい創出が行われている。</p> <p>また、令和3年度はFOODEVER内に設置されている4台の4Kテレビで放映している映像の更新を行い、四季ごとの在来作物や地魚等の映像を放映し、施設内の賑わい創出・食文化情報の発信強化を図っている。</p> <p>令和3年度は1店舗の出店があり、将来的には2店舗の出店を目標としている。</p>
事業の今後について	食文化の情報発信及び更なる賑わい創出に向け、テナント会、観光案内所、行政が連携し取組みを行っていく。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

「商店街の空き店舗数」は、「チャレンジショップ事業」による事業者とのマッチングを行い、令和3年度においては2件の実績があるなど一定の効果はあるものの、令和4年度での目標達成は難しい状況にある。新型コロナウイルス感染症の影響による新規出店の伸び悩みや郊外地への移転等により2件増加している。今後も通行量の改善に取組みとともに、チャレンジショップ事業や遊休不動産利活用推進事業の実施により「空き店舗数」の減少を図っていく。

「主要観光施設入込客数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 62～P. 65 参照

### ●調査結果と分析



年	(百人)
H28	1,508 (基準年値)
H30	1,510
R1	1,563
R2	672
R3	820
R4	1,078 (目標値)

※調査方法：対象施設への聞き取り

※調査月：令和4年5月

※調査主体：鶴岡市

※調査対象：観光案内所（2か所）、致道館、致道博物館、大宝館、荘内神社宝物殿、藤沢周平記念館、旧風間家住宅丙申堂

主要観光施設位置図



(単位：百人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
大宝館	237	165	202	73	158	
致道館	301	288	272	104	122	
致道博物館	506	484	497	246	277	
宝物殿	45	58	65	63	63	
丙申堂	100	98	89	33	37	
藤沢周平記念館	215	183	171	69	75	
観光案内所	206	234	267	84	88	
合計	1,610	1,510	1,563	672	820	

〈分析内容〉

「主要観光施設入込客数」の増加に向けた各事業については、一部事業を除き実施済、実施中となっており、令和元年度には対前年度で増加に転じており、効果が出始めていると考えられる。特に「大宝館」や「致道博物館」、「観光案内所」における増加については、「市指定有形文化財大宝館整備事業」や「重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業」、「鶴岡駅前ルネッサンス事業」等によるものと考えられる。

令和 2 年度、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少したことが影響したものと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業（公益財団致道博物館）※再掲

事業実施期間	平成 25 年度～平成 30 年度【済】
事業概要	擬洋風建築の旧鶴岡警察署庁舎について風致を維持するための改修
国の支援措置名及び支援期間	重要文化財（建造物・美術工芸品）修理、防災事業費国庫補助（文化庁）（平成 25 年度～平成 30 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	本市歴史的風致維持向上計画の重点区域にある擬洋風建築である旧鶴岡警察署庁舎について、外観及び内部の修繕を行い美観と安全性を確保し、文化財価値の継承と、歴史的風致の維持向上により、観光客の増加が見込まれる。 【来館者数 R1：497 百人、R2：246 百人、R3：277 百人】
事業の今後について	引き続き他の観光施設との連携を強化し観光客増に努めていく。

②. 市指定有形文化財大宝館整備事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成 30 年度【済】 [認定基本計画：平成 29 年度～平成 30 年度]
事業概要	擬洋風建築の大宝館について風致を維持するための改修
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)（国土交通省）（平成 30 年度） [認定基本計画：社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)（国土交通省）（平成 29 年度～平成 30 年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	鶴岡公園内の観光拠点施設で本市を代表する擬洋風建築である大宝館について、外観及び内部の修繕を行い美観と安全性を確保し、文化財価値の継承と、歴史的風致の維持向上により、観光客の増加が見込まれる。 【来館者数 R1：202 百人、R2：73 百人、R3：105 百人】
事業の今後について	引き続き他の観光施設との連携を強化し観光客増に努めていく。

③. 鶴岡駅前ルネッサンス事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	観光客の回遊拠点である駅前地区での食文化の情報発信・観光誘客
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・	鶴岡駅前地区におけるマリカ東館の 1 階を整備し、食文化をテーマ

最新値及び進捗状況	<p>とした地元食材を生かした飲食店機能、オリジナル商品の開発とセレクトショップ、コミュニティスペースの活用により、県外観光客の回遊と商店街の賑わい創出が行われている。</p> <p>また、令和3年度はFOODEVER内に設置されている4台の4Kテレビで放映している映像の更新を行い、四季ごとの在来作物や地魚等の映像を放映し、施設内の賑わい創出・食文化情報の発信強化を図っている。</p> <p>令和3年度は1店舗の出店があり、将来的には2店舗の出店を目標としている。</p>
事業の今後について	食文化の情報発信及び更なる賑わい創出に向け、テナント会、観光案内所、行政が連携し取組みを行っていく。

④. 鶴岡市文化会館関連事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成30年度～【実施中】 [認定基本計画：昭和47年度～]
事業概要	新文化会館を活用した多彩な事業展開による交流・にぎわいの創出
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>平成30年4月にグランドオープンした鶴岡市文化会館において、年間を通じた芸能イベントの開催や、地域の独自性を生かした取り組みにより、市外からの交流やにぎわいが生まれている。</p> <p>【来館者数 R1：738百人、R2：426百人、R3：399百人】</p>
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

⑤. 鶴岡型DMO育成支援事業（鶴岡市・鶴岡市観光連盟・各観光事業者等）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	鶴岡型DMOの設立及び運営によるインバウンド対応
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（平成29年度～令和元年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>農林水産業、商工業等多様な観光資源を活用し、滞在プログラム・旅行商品の造成・販売、観光コンテンツの磨き上げ等を実施する組織として、鶴岡型DMO・（一社）DEGAM鶴岡ツーリズムビューローを設立し、地域として一体的に取り組んでいく。</p>
事業の今後について	設立により、多様な観光資源を活用した取組みを行い、観光客誘致及びインバウンド対応に努めていく。

⑥. インバウンド観光推進事業 ①情報発信・プロモーションの実施（鶴岡市観光連盟）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	外国語パンフレットやHPによる情報発信によるインバウンド対応
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし 〔認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（平成 29 年度～） 東北観光復興対策交付金（復興庁）（平成 30 年度）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	オンラインを活用した情報発信を行いながら、インバウンド再開を見据える。外国の旅行会社、メディア等への旅行商品造成を働きかけ、インバウンドを増やしていく。 【外国人観光客延べ宿泊者数 R1：13 千人、R2：2 千人、R3：1 千人】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、インバウンド再開を見据えた対応に努めていく。

⑦. インバウンド観光推進事業 ②フリーWiFiの整備（鶴岡市観光連盟）

事業実施期間	平成 28 年度～平成 30 年度
事業概要	外国人観光客の利便性向上のための、無料WiFi整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし 〔認定基本計画：東北観光復興対策交付金（復興庁）（平成 30 年度～）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	外国人観光客の利便性向上のため、鶴岡駅前を中心に無料WiFiを整備している。 【整備箇所数：10 箇所】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、インバウンド再開を見据えた対応に努めていく。

⑧. インバウンド観光推進事業 ③国際交流員（GIR）の任用（鶴岡市）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	国際交流員によるインバウンド対応や企画立案や情報発信
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	外国人青年招致事業（JET プログラム）の国際交流員（GIR）1 名を任用し、外国人の視点を活用したインバウンド対応や企画立案や情報発信を実施している。
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、インバウンド再開を見据えた対応に努めていく。

⑨. インバウンド観光推進事業 ④外国人地域おこし協力隊員の活用（鶴岡市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	外国人の地域おこし協力隊員による外国人目線での食文化情報発信
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	外国人の地域おこし協力隊員を採用し、外国人目線での地域資源の掘り起こしや、海外に向けた食文化の情報発信を実施している。 令和元年度及び 2 年度については、CIR の活用により外国人地域おこし協力隊員は未採用
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、インバウンド対応に努めていく。

⑩. 景観まちづくり事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 29 年度～令和元年度【済】
事業概要	観光案内看板等の整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし 〔認定基本計画：社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（国土交通省）（平成 29 年度～令和元年度）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心部にある観光資源、景観資源等を保全・活用により観光地としての魅力を高めるため、案内サイン看板の整備を行った。 【設置箇所数 18 箇所】
事業の今後について	案内看板の設置により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

⑪. 庄内酒まつり（庄内酒まつり実行委員会）

事業実施期間	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	地元の全酒蔵の日本酒が試飲できるイベントの開催
国の支援措置名及び支援期間	文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業（文部科学省） （平成 28 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	本市食文化を代表する日本酒について、鶴岡駅前地区を会場に庄内地域全 18 蔵の吟醸酒や純米吟醸酒など 100 種以上の地酒を試飲できるイベントを実施し、観光誘客を図りまちなかの賑わいづくりを行った。 令和 3 年度はオンラインイベントと地酒販売促進キャンペーンを実施。 【来場者数 R1:5 千人、R2 : 0 千人、R3 オンラインイベント参加者数 : 167 人】

事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。※令和4年度は令和3年度に引き続きオンラインイベントを実施する。
-----------	--

⑫. 日本海寒鱈まつり（鶴岡銀座商店街振興組合・日本海寒鱈まつり実行委員会）

事業実施期間	平成元年度～【実施中】
事業概要	毎年1月第3日曜日に開催している鶴岡の冬の味覚をテーマとしたイベント
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし 〔認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成30年度～）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	冬の味覚「寒鱈汁」をテーマとしたイベントを通し、観光誘客の推進による交流人口の拡大とともに、市民の銀座商店街への興味・関心の向上、来街と購買意欲への動機付けを図った。 【来場者数 R1：25千人、R2：2千人、R3：6千人】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

⑬. 食と風土の祭典（食文化ビエンナーレ）（食と風土の祭典実行委員会）

事業実施期間	平成30年度～【未】
事業概要	食文化を活用した展示と探検によるまちなか観光活性化の取組み
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	食文化にまつわる場所、行事、歴史、精神文化、市民活動について巡り歩いてもらい、観光活性化を図る事業であり、今後事業実施に向けた取組みを行っていく。
事業の今後について	令和3年度に事業実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国的に人流の抑制、自粛傾向であることから、令和4年度への事業延期、またインバウンド向けの事業等、事業内容の変更（事業名称及び事業実施主体）を含め検討を進めている。 ※新型コロナウイルス感染症の全国的な状況を注視しながら、検討（適正な開催時期など）を進めていく。

⑭. つるおか食文化映画祭（つるおか食文化映画祭実行委員会）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	食文化に関連した映画の上映会
国の支援措置名及び支援期間	文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業（文部科学省）（平成28年度～）

間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	鶴岡まちなかキネマを会場に、食をテーマにした映画祭を開催し、食文化の情報発信とともに観光誘客を通じた賑わいづくりを行った。 令和3年度はオンライン配信と会场上映のハイブリッド開催を計画したが、まん延防止等重点措置の適用を受け、オンライン配信のみの実施とした。 【来場者数 R1: 534人、R2: 529人、R3: 37人】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

⑮. 三日町口通り修景事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成27年度～令和4年度【実施中】
事業概要	市道荘内神社前大東町線について修景整備とともに無電柱化を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) (国土交通省) (平成30年度～令和4年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	城下町らしさを演出する修景整備により、往時の雰囲気を出し、市民、観光客の受け入れ体制を整備する。 令和3年度 無電柱化推進協議会等での協議
事業の今後について	引き続き、電線管理者との協議を進め、事業化に向け、整備手法及び事業費の比較検討を行う。

⑯. 鶴岡公園内堀道路修景事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成29年度～令和4年度【実施中】
事業概要	市道鶴岡公園新形町線について修景整備とともに無電柱化を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) (国土交通省) (平成30年度～令和4年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	城下町らしさを演出する修景整備により、往時の雰囲気を出し、市民、観光客の受け入れ体制を整備する。 令和3年度 道路改良 L=552m (側溝整備、街路灯・交通標識設置、車止め・ベンチ設置)
事業の今後について	令和2年度から2ヶ年の計画で道路修景工事を実施し、歩行者空間を確保し、観光客の利便性向上に資する。

⑰. 歴史的風致形成建造物保存活用整備事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成28年度～令和4年度【実施中】
事業概要	歴史的風致維持形成建造物の保存活用のための支援
国の支援措置	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) (国土交通省)

名及び支援期間	(平成 28 年度～令和 4 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	個人・民間が所有する歴史的建造物を維持するために支援し、公開等により、関心の高まり、観光客への遊動を誘引し、保存活用と歴史的風致の維持向上を図り、市民・観光客の受入体制を整備する。 【丙申堂来館者数 R1 : 89 百人、R2 : 33 百人、R3 : 37 百人】
事業の今後について	歴史的建造物の保存活用のため、継続して支援する。

⑩. 鶴岡公園内整備事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	芝生・インターロッキング舗装を施した園路整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) (国土交通省) (平成 30 年度～令和 4 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	城址公園として、市街地観光の拠点であり、市民憩いの場として、景観に配慮し市民・観光客が滞留し交流できる整備を行い、賑わい創出につなげる。 令和 2 年度に実施設計を行い、県道拡幅（無電柱化事業）に合わせ、令和 3～4 年度の同時期に整備工事を実施する。 令和 3 年度 遊具等施設撤去、盛土及び切土、擁壁設置、照明等電気設備設置
事業の今後について	令和 3～4 年度の都市計画道路道形黄金線と合わせた、計画的な整備を推進する。

⑪. 散策・休憩施設整備事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度【済】 [認定基本計画：平成 26 年度～令和 4 年度]
事業概要	中心部に散策休憩施設を整備し、観光客及び来街者の利便性を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし [認定基本計画：社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) (国土交通省) (令和元年度～令和 4 年度)]
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心商店街に、中心部に散策休憩施設が整備されることによって、観光客、中心市街地の来訪者の休憩や立ち寄りの利便性が向上している。 平成 29 年度 本町二丁目広場 整備完了
事業の今後について	中心部の散策休憩施設が、観光客、中心市街地の来訪者の、休憩や立ち寄りの利便性向上に資するよう努めていく。

⑳. 中心市街地エリアマップ制作事業（鶴岡市、鶴岡観光協会等）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地エリアを紹介する観光マップの制作
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地エリアの観光スポットなど、まちなかを歩く観光客にとって必要な情報を掲載したマップを制作し、利便性向上に努めている。 【作成（配布）枚数：10 万枚】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

㉑. 宿泊施設改修「東京第一ホテル鶴岡」（株庄交コーポレーション）

事業実施期間	平成 29 年度～平成 30 年度【済】
事業概要	ホテルの耐震改修を含む大規模改修
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地における、集会機能を有するホテル施設として、イベントやコンベンションの開催等により、市民の生活利便の向上、交流拡大、賑わい創出に資する。 平成 30 年度に大規模改修（耐震）が完了。
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

㉒. 藤沢周平記念館事業（鶴岡市）

事業実施期間	平成 22 年度～【実施中】
事業概要	藤沢文学に関する常設・企画展示、講演会・朗読会、文学散歩、原作ドラマ上映会等イベント、資料収集、情報発信等
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	前計画で整備した鶴岡市立藤沢周平記念館を拠点として、藤沢文学と、その原点ともいえる鶴岡・庄内の文化や風土、精神性を広く発信している。 講演会や朗読会等といった関連イベントの実施をとおして、作品をより味わい深めながら、まちなか観光の促進や交流人口の拡大を図っている。

	【来館者数 R1：171 百人、R2：69 百人、R3：76 百人】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

⑳. 観光ガイド事業（鶴岡市観光ガイド協議会）

事業実施期間	平成3年度～【実施中】
事業概要	観光客の希望に応じた鶴岡公園周辺や藤沢周平ゆかりの地などの観光案内
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	観光客に本市の良さを知ってもらい、旅の思い出づくりの一助とするため、観光ガイドによるまちなかの案内を行い、魅力向上を図っている。 【利用者数 R1：1,115 人、R2：84 人、R3：318 人】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

㉑. 観光案内所運営事業（鶴岡市・鶴岡市観光連盟）

事業実施期間	平成9年度～【実施中】
事業概要	市内観光案内所の運営による観光客情報発信
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	観光客に対して必要な観光情報を提供し、誘客の促進を図る観光案内所を鶴岡駅周辺エリア・鶴岡城址公園エリアに設置し、観光客の利便性向上に取り組んでいる。 【利用者数 R1：267 百人、R2：84 百人、R3：88 百人】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

㉒. 交通輸送対策事業（鶴岡市、民間事業者、鶴岡市地域公共交通活性化協議会）※再掲

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	中心市街地と周辺地域を結ぶ効率的な交通ネットワークの構築
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし 〔認定基本計画：地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通確保維持事業）（国土交通省）（平成27年度～）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地と周辺地域を結ぶ効率的な交通ネットワークを構築し、市内循環バスを運行することで、市街地の交通機能の向上を図っている

捗状況	る。 【利用者数 R1:753千人 R2:656千人 R3:596千人】
事業の今後について	継続した事業展開により、市民などの利便性向上に努めていく。 現在の地域公共交通計画に基づき、令和4年10月より新市内循環線の運行を開始する。

②⑥. 鶴岡ぐるっとバス運行事業（鶴岡市観光連盟）

事業実施期間	平成19年度～【実施中】
事業概要	7月中旬から9月下旬までの土・日・月及び祝日の観光バス運行
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	観光客の利便性向上として、市内観光名所を回る周遊バスを運行している。 【利用者数 R1:155人、R2:-人、R3:-人】
事業の今後について	令和2年度、令和3年度は今後の在り方を検討するため休止している。 継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

②⑦. シビックコア再整備事業（鶴岡市）※再掲

事業実施期間	令和元年度～【実施中】 [認定基本計画：令和2年度～令和4年度]
事業概要	都市機能誘導施設として荘内看護専門学校の改築及び公共交通のハブ機能の整備による利便性の向上
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	荘内看護専門学校の移転改築に向け、国の合同庁舎建設スケジュールを注視し、計画的に推進していくため、令和2年度に基本構想をとりまとめ、令和3年度は整備基本計画を策定し、移転新築工事設計業務の公募型プロポーザルを公示した。 シビックコア地区における駐車場の適正配置を含む土地利用と連動した交通ネットワークの形成を検討するため、平成30年度より毎年度、駐車場利用調査を実施している。
事業の今後について	シビックコア地区を含む中心市街地の土地利用について、地域公共交通とも連携し検討を進める。

②⑧. 観光レンタサイクル事業（鶴岡観光協会）

事業実施期間	平成 15 年度～【実施中】
事業概要	観光客が利用できる自転車の無料貸出し
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	本市を訪れる観光客が観光施設や藤沢周平作品ゆかりの地など、まちなか観光を自由に周遊できるよう、JR 鶴岡駅前観光案内所・荘内神社に自転車を設置、無料貸出しを行い、2次交通対策を行っている。 【利用者数 R1:2,586 人、R2 : 1,001 人、R3 : 1,291 人】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

②9. 市街地観光共通券発行事業（鶴岡街中観光共通券会）

事業実施期間	平成 19 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の観光施設を巡る共通券の発行
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	「致道博物館」「荘内神社 宝物殿」「丙申堂」「釈迦堂」「藤沢周平記念館」の 5 つの有料施設に、1,200 円で入館できる共通券を発行し、中心市街地エリア全体への観光誘客を推進している。 【発行数 R1:1,199 枚、R2 : 173 枚、R3:530 枚】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

③0. 城下町探訪&グルメウォーク（鶴岡商工会議所）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	食文化と城下町の歴史をテーマとしたウォーキングイベントの開催
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地を回遊しながら、城下町の歴史と食文化を楽しむことのできるウォーキングイベントを開催し、観光客のまちなか観光の充実を図っている。 【イベント参加者数 R1:29 人、R2 : 40 人、R3 : 67 人】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

③1. まつりの振興（天神祭実行委員会・荘内大祭実行委員会・鶴岡冬まつり実行委員会等

各まつり等実行団体)

事業実施期間	【実施中】
事業概要	鶴岡桜まつり、天神祭、荘内大祭、鶴ヶ岡城址菊花展、鶴岡冬まつり等の開催
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし 〔認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成30年度～）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	鶴岡を代表する祭りである「鶴岡天神祭」や「荘内大祭」「おいやさまつり」等を通し、観光誘客の推進と市内外の交流の拡大を図っている。 【天神祭パレード参加者数 R1:220千人、R2:-千人、R3:-千人】 ※令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止している。
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

③②. 観光人力車運行事業（鶴岡観光協会）

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	鶴岡公園周辺における観光人力車の運行
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	荘内神社前を起点に、鶴岡公園内・周辺観光施設・鶴園橋・三雪橋等へ観光人力車を運行し、城下町の風情を求める観光客に対して更なる魅力アップと、観光誘客を図っている。 【利用者数 R1:60人、R2:-人、R3:-人】
事業の今後について	令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により休止している。 継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

③③. 「鶴岡雛物語」事業（鶴岡雛祭り実行委員会）

事業実施期間	平成15年度～【実施中】
事業概要	「致道博物館」「荘内神社宝物殿」「丙申堂」等の施設と商店街の各店での雛人形一般公開
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・	本市の貴重な地域資源のひとつであるお雛様を観光客や市民に一般

最新値及び進捗状況	公開するとともに、施設における雛めぐり共通割引券の発行サービスを提供し観光誘客を図っている。 【来場者数 R1:6千人、R2:4千人、R3:4千人】
事業の今後について	継続した事業展開により、観光施設との連携を図りながら、観光客の回遊に努めていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

鶴岡型DMO育成支援事業等の各事業における入込客数については、平成28年と令和3年度を比較すると56%の減となっている。令和元年度まではほぼ横ばいの数値、目標値に近い数値で推移してきており、感染症の状況が落ち着けば一定程度観光客の増が期待できるが、現状令和4年度までに目標と達成するのは困難と考えるが、今後も、令和元年度に設立した（一社）DEGAM 鶴岡ツーリズムビューローを中心に、引き続き関係機関との協力しながら観光客の増加を図っていく。